

ネイティブ哺乳類ユビキチン結合酵素分画

Cat. No. NATE-0727

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ユビキチン結合酵素は、プロテアソームによる分解のためにタンパク質を標的とするユビキチン化反応の第二段階を実行します。ユビキチン化プロセスは、76アミノ酸からなる短いタンパク質であるユビキチンを、標的タンパク質のリジン残基に共有結合的に付加します。タンパク質が1つのユビキチン分子でタグ付けされると、追加のユビキチン化のラウンドがポリユビキチン鎖を形成し、これはプロテアソームの19S調節粒子によって認識され、ATP依存的な標的タンパク質の展開を引き起こします。これにより、プロテアソームの20Sコア粒子への通過が可能になり、そこでプロテアーゼが標的を短いペプチド断片に分解し、細胞によるリサイクルのために利用されます。

用途 ユビキチン結合酵素分画は、活性化されたユビキチンをE1から基質に転送する際に、追加の高エネルギーのチオールエステル中間体E2-S-ユビキチンを介して使用されることがあります。ユビキチン結合酵素は、E2酵素としても知られ、より稀にユビキチンキャリア酵素とも呼ばれ、プロテアソームを介してタンパク質を分解するためのユビキチン化反応の第二段階を実行します。

別名 ユビキチン結合酵素; ユビキチン結合酵素分画; E2酵素; ユビキチンキャリア酵素

製品情報

由来 哺乳類の

保管・発送情報

保存方法 -70°C